

事業名 家庭教育支援事業の企画力向上セミナー

趣 旨 先進的事例の研究協議や事業・学習プログラムの立案・展開・評価に関する理論と実践的な知識・技術の習得を通して、市町村職員等の家庭教育支援に関する企画力・運営力の向上を図り、「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の全体的展開を促進する。

実施主体 新潟県立生涯学習推進センター

参加対象 市町村生涯学習・社会教育関係職員、地域家庭教育・子育て支援団体関係者等

参加者数 延べ 104名

回 数 2回 **日 数** 2日 **時 間** 11時間

場 所 新潟県立生涯学習推進センター大研修室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月22日（火）	「行列のできる講座の作り方」 ～企画力と広報力を高めよう～	NPO法人男女共同参画おおた 理事 牟田 静香
	内容・方法	①講義「人の集まる講座を企画する視点」 ②演習「事業評価を生かした企画会議」 講座の広報チラシと実施報告書（エセナおおたで実施した事業事例）をもとに、グループで課題の抽出をし、改善点を話し合った。 ③演習「企画の意図を効果的に伝える広報のあり方」 エセナおおたで実施した15講座の広報チラシについて、行列ができたか否か（募集定員を上回ったか）の予想を立て、実際の結果と照合しながら効果的な広報についてグループで話し合った。	
2	8月28日（火）	「子育て」を支える家庭教育支援	武蔵大学人文学部教授 武田 信子 コーディネーター 桑原 ハル子 地域ボランティア 鷺津 輝 前希望が丘小学校長 金森 和夫 糸魚川市生涯学習課 蒲原 麻里 糸魚川市健康増進課 山岸 圭子
	内容・方法	①講義「家庭教育 次の一手をどうするか？」 日本の大人は幸せに暮らすために、何を一番大切と捉えるのか。「しかたない」とあきらめることでいいのかなど、オランダ・カナダの実態と比較しながら考察した。 ②話題提供 ●「地域の力を生かしたい」 ～三方（家庭・地域・学校）よし！100人のボランティアが支える長岡市希望が丘コミュニティの放課後子どもプランの取組～ ●「孤立する親を支えたい」 ～保健師と子育てサポーターによる訪問型支援。行政の縦割りを超えた連携事業～ ③演習「一人一人の小さな力で地域が変わる、社会が変わる」 長岡と糸魚川グループに分かれて、それぞれのテーマに添ってフリートークをした。	

成 果 ・ 第1回は、具体的な事例（行列しなかった企画の事業評価）を基に話し合ったので、ねらいも明確で活発な学習活動ができた。グループワークで意見を述べ合うことに対して満足度が高かった。

・ 第2回では、家庭教育支援の重要な課題に挑戦している取組事例を、それに関わる様々な立場の方から発表してもらい、課題を多面的に捉えることができた。

課 題 ・ 研修の成果を受講者がどのように生かすことができたのか、実態を把握し、さらに実践的な研修内容を仕組むことが必要である。

問合せ先 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課（担当 小熊幸子）
電話：025-284-6110